第34回 道央クラブバレーボール連盟 9人制会長旗争奪大会

平成28年4月17日(日) 札幌白石区体育館

大会会長 吉川 貴盛
 大会委員長 高橋 克徳
 競技委員長 佐藤 充昭
 審判委員長 別所 拓哉
 総務委員長 津田 良二

【男子の部】

A	B A T T L E 1	A
2	主:大友 大輔 副:尾上 セナ 記:沖中 英樹	2
1	S U N S 2	2

21	-	11
21	-	14
-	-	0

21	-	11
21	-	7
-	-	0

優勝 BATTLE(札幌市)
3年連続4回目

2チームのみの参加のため2回戦により行われた9人制男子の部。1試合目は序盤から互いにミスも出て波に乗りきれないでいたが、次第にBATTLEが9番田垣,3番原岡エースの活躍と7番北嶋の巧みなプレーで粘るSUNSを振り切り勝利した。2試合目もBATTLEは4番北澤7番北嶋のトス回しが冴え、攻撃陣が勢い良く攻め立てる。対するSUNSも粘りのレシーブから必死に3番岡山,16番杉本の両エースにボールを集めるが、BATTLEのレシーブを崩すまでには至らず、この試合もBATTLEが勝利し、3年連続4回目の優勝を飾る。(佐藤充)

【女子の部】

《 予 選 》

A	B A T T L E 1	A
2	2位(1勝1敗)	2
5	か れ ん 2	3
	1位(2勝0敗)	2
	札 幌 中 央 ク ラ ブ 3	4
	3位(0勝2敗)	

21	-	10
21	-	14
-	-	0

21	-	17
21	-	16
-	-	3

21	-	9
21	-	10
-	-	0

優勝 かれん(恵庭市)
5年ぶり8回目

予選1位
か れ ん

《 決 勝 》

21	-	14
21	-	18
-	-	6

予選1位
B A T T L E

予選リーグではかれんがストレートで勝利したが、決勝戦はどのように...
 1セット目主導権を握ったのはかれんであった。BATTLEはあらゆるポジションより攻撃を仕掛けるが、かれんの守備がそれを許さず、逆にレシーブから攻撃陣に上手く繋ぎ、巧みな攻撃で徐々に点差を広げこのセットを先取る。2セット目の序盤はかれんにミスが目立ち、BATTLEが優位に試合を進める。だが次第に修正し持ち前の守備力で点差を締め効果的なサーブも出たかれんが中盤以降逆転し最後までサービスエースで21点目を挙げこのセットも連取し5年ぶり8回目の優勝を飾る。(佐藤充昭)

【4号球の部】

《 予 選 》

B	Z E R O 1	B
2	3位(1勝1敗)	2
3	北 栄 2	1
	2位(2勝0敗セット率4.0)	2
	札 幌 ク ラ ブ G 3	4
	5位(0勝2敗得点率0.52)	2
	爽 和 ク ラ ブ 4	2
	1位(2勝0敗セット率MAX)	2
	北 野 ク ラ ブ 5	5
	4位(0勝2敗得点率0.58)	

22	-	20
20	-	22
21	-	16

21	-	11
21	-	11
-	-	0

21	-	14
21	-	8
-	-	0

21	-	11
21	-	14
-	-	0

優勝 爽和クラブ(江別市)
4年ぶり5回目

予選1位
爽和クラブ

《 決 勝 》

21	-	19
21	-	16
-	-	6

予選2位
北 栄

当連盟で初陣となる北栄と実績十分の爽和クラブとの決勝戦。互いに譲らず1セット目序盤より接戦となる。互いのエースの活躍と安定した粘りあるレシーブで終盤までもつれるが、最後の最後に得点を連取した爽和クラブがこのセットを先取る。2セット目は逆に高さの有るブロックが要所で出た北栄がペースを握り点差を広げる。しかし中盤よりそれに対応した爽和クラブが徐々に追い上げ、13番阿部の活躍も重なって一気に逆転し、このセットも連取し4年ぶり5回目の優勝を飾る。(佐藤充昭)

【成績結果】

男子の部	優勝	BATTLE(札幌市)	準優勝	SUNS(札幌市)
女子の部	優勝	かれん(恵庭市)	準優勝	BATTLE(札幌市)
4号球の部	優勝	爽和クラブ(江別市)	3位	札幌中央クラブ(札幌市)
			3位	ZERO(札幌市)